

会 報 《第444号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和4年12月1日

目 次

I 第505回月例会

「成長する東播磨へ ～3つのキーワードからの挑戦～」

兵庫県東播磨県民局 局長 小川 佳宏 氏 . . . 2～6頁

II 視 察 会 (第502回月例会併催)

「西神中央 なでしこ芸術文化センター」 . . . 7～9頁

III お知らせ 行事予定、編集後記 . . . 10頁

IV 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度 . . . 11頁



I 第505回月例会

「成長する東播磨へ ～3つのキーワードからの挑戦～」

兵庫県東播磨県民局 局長 小川 佳宏 氏



【川端副会長挨拶】



皆さんこんにちは。

山本会長が急遽所用のため欠席させていただくことになりました。私が代わりましてご挨拶させていただきます。

本日は紅葉の季節の中、ご多忙中にも関わらず月例会に御参加いただき、ありがとうございます。

月例会も今回から教室形式から円卓テーブル形式とし、皆さまの交流が深められるような形にさせていただきました。

当会事業といたしましては、12月8日に事業推進委員会の開催を予定しております。

県の土木部契約管理課より建設業の今後の動向、また建設業法につきまして説明をいただきその後懇談会を行う予定にしております。

また、本年度が当会創立75周年にあたり、京都大学名誉教授の河田先生によります記念特別講演会を9月に予定しておりましたが、コロナの関係で延期となりました。色々と調整させていただきました結果、来る1月12日に新春会員交流会と併催の形で実施出来る運びとなりました。会員の皆さまには奮って御参加いただきますようお願いいたします。

本日は、兵庫県東播磨県民局の小川局長様から「成長する東播磨へ」という演題でご講演をいただくことになりました。

ご存じのように東播磨地域は神戸、大阪に近接しており、また非常に温暖な気候でもありま

す。そして大きな災害も比較的少ない地域でもあります。

食べ物も魚はもちろん肉、野菜も非常においしいものが生産されています。そのような面でも日本一住みやすい地域ではないかとも思っております。

そのような中で、各地域との調整も非常に重要なことだといえますが、局長として日頃ご苦労されていることだと思います。

本日は東播磨の魅力を高め、成長する東播磨につつまして、いろいろと興味ある話題についてご説明いただけたと思います。

どうぞよろしく申し上げます。

(会場風景)



【講演内容】



1 はじめに（3つのキーワード）

兵庫県東播磨県民局長の小川と申します。本日はお招きいただきまして、ありがとうございます。

建築会ということで公共事業を中心にお話ししようとも思いましたが、県が行っている東播磨での取組、そしてそれに関連する県全体の動きなどを中心にお話しさせていただきたいと思っています。

東播磨県民局は、ご存じのように明石市、加古川市、高砂市、播磨町、稲美町の3市2町を所管しております。人口は約71万人で県全体の約13%です。面積は266.3㎡、工業出荷率は県全体の約26%を占めており非常に豊かな地域といえると思います。

齋藤知事が就任されて1年数ヶ月が経過しましたが、知事が普段どのようなことを言われているかを含めて、私たちがやっていることとリンクさせてお話しをさせていただきます。

最初に「成長する東播磨へ」について、3つのキーワードに沿ってお話いたします。

1つ目のキーワードは「躍進する兵庫へ3つの視点」です。

この視点とは①新しい成長の種をまく、②地域の価値を高める、③安心安全の網を広げるというものです。この3つの動きを繰り返すことで、躍動する兵庫を築き上げようとしています。

- ① は成長の種をまくということで、新しい事業を準備するというスタートアップ事業、中小企業の革新をやっていこうということです。
- ② は兵庫県が持っている地域の魅力を高めて、地域創生を行うということです。例えば各地域市町にひょうごフィールドビ

リオンを創っていこうということです。

- ③ は災害に強い県道づくりとか、防犯、交通安全対策の充実ということです。

2つ目が「ひょうごフィールドパビリオン」です。2025年には大阪関西万博が開催されますが、想定来場者は2,820万人、海外からも350万人ということで、兵庫県に人・もの・投資を呼び込んでいきたいと考えています。

そのために地域で活躍するプレーヤーがそれぞれの地域で体験とかの発信、対話の場の創設を行うことが出来る準備をすすめていく。これが「フィールドパビリオン」の概念です。例としては北播磨の山田錦、それを元に作る日本酒、また但馬牛などを兵庫の魅力として発信してはどうかといわれています。

東播磨では何があるのかということですが、昔から大王の石棺の材料になっていた「竜山石」とい素晴らしい石があります。また地域内に500以上あるため池などの魅力づくりを進めていければと考えています。

3つ目は、「公民連携によるSDGs」です。ひょうごSDGs Hubということで、情報発信、情報共有を踏まえて、いわゆる公民連携で地域課題に伝えていきたいと考えています。東播磨での具体的な動きとしては、臨海部の工業地帯の二酸化炭素排出への対策として協議会を立ち上げ、計画づくりに入った状態です。

このような3つの大きな県の動きに対して東播磨として工夫をしながら、どのように対応していくかを考えております。

その一つの話題として、「スマートシティ」を標榜しています。人口減少が進む中、色々なことをAIに置き換えようとする取組の機会を作ろうとしています。

話題2 ふるさとの木・オリーブ植樹



R3年10月30日
「オール市民で加古川イキイキふるさと創り」
宝蔵寺（別府）に
我が国最古のオリーブ（140年）
前田正名から多木久米次郎へ
オリーブ100本とともに
個人主義でない社会へ加古川から
広めたい

また「ふるさとの木・オリーブ植樹」では、オール市民で加古川イキイキふるさとづくりを目指して、オリーブの植樹を行い、個人主義ではない社会を作っていこうとしています。

2 東播磨の特性

東播磨の特性としては、大きく3つあると思います。

1つ目は、「ものづくりの優位性」です。工場が集中している地域であり、製造事業者が942（県全体の12.4%）、出荷額は3兆6千億円（同21%）にもなります。

2つ目は、県下最大の河川である加古川、加古大池をはじめとする500以上のため池、豊かな漁場である瀬戸内海を擁する「水辺のある暮らし」です。

3つ目が、「利便性」です。JRも山陽電車もあり、大阪、神戸も通勤圏であり、さらなる地域の付加価値を求めてスマートシティなども推進しています。

東播磨の人口ですが、減ってきてはおりますが、約71万人です。明石市は30万人を超え神戸市などからの流入で増加しています。逆に明石市から播磨町、稲美町からの転入も見受けられます。このような状況の中で加古川市なども人口流出の流れを止めることが出来ると思っています。

合計特殊出生率も減少していますが、県平均が1.47に対して、明石市で1.58、稲美町は最小ですが、30代の転入が多く、子どもの数は減っていません。

3 地域創生の方向

歴代の知事にはそれぞれ県政の基調というものが、齋藤知事は就任されて「ボトムアップ」、「躍動する兵庫県」を掲げて取り組まれています。我々県民局の現場もそのことを念頭に仕事を行っております。

3 地域創生の方向
(1) 県政の基調

- ・ 金井元彦知事 → 生活の科学化
1962年-1970年
- ・ 坂井時忠知事 → 生活の文化化
1970年-1986年
- ・ 具原俊民知事 → 生活創造
1986年-2001年
- ・ 井戸敏三知事 → 参画と協働
2001年-2021年
- ・ 齋藤元彦知事就任 → ボトムアップ、躍動
2021年8月～

また、県と市町の役割ですが、法令上は日本国憲法第92条に「地方自治の本旨に基づいて」と規定されています。地方自治法では普通地方自治体は都道府県と市町村と規定し、両者は対等の関係であると理解しております。

県としましては専門的、先導的分野、あるいは

は広域的な分野で役割を果たしていきたいと考えています。

人口は減少していく中で、政策的にどうやって成長を促していくかですが、生産量を最大化するための的確な資本の投下、人口減少に代替できる技術進歩をうまく組み合わせしていく工夫を検討していく必要があります。

また人口増に対する検討も重要だと思います。英国の経済学者ティボーは「足による投票」という概念として、個人の住居地選択は地域の公共財とか、政策の選好によると述べました。

この場合、地域間で付加価値の創造という良い競争とゼロサムゲーム等パイの奪い合いになる悪い競争が生まれることとなります。

また、成長のための要素を考えると、技術革新とか経済成長が必要なのですが、それを支えるものとして社会基盤の整備等による付加価値の創造が重要と考えております。

具体的にはフィールドパビリオンによる地域活性化とか公民連携によるSDGsへの取り組みが大事になり、それが躍動する兵庫に繋がっていくものだと思います。

4 東播磨県民局 地域ビジョン

東播磨県民局地域ビジョン
～水辺・ものづくりのまちでつながり
ワクワクする未来～

- I 人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり
- II 水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくり
- III いきいきと暮らせる、安全安心な東播磨づくり

東播磨県民局として「水辺・ものづくりのまちでつながり ワクワクする未来」を標榜して具体的な施策に取り組んでいます。

(1) 人・モノ情報が交流しにぎわう 東播磨づくり

小中学生に1人1台のタブレット端末を配布したギガスクール。その整備を含めて東播磨2市2町で地域BWAを整備しました。「地域BWA網を活用したスマートシティの展開として」として、この自治会電子回覧板の設置推進の導入を予定している。


コロナ禍のなかで人と人の接触が少なくなった現状に対応できるものと期待できる社会実験です。

また、加古川庁舎の駐車場は混雑が常態化しているのですが、これも BWA を使って混雑状況の可視化、情報の発信化も有効ではないかと対策を計画しています。

スマートシティを体験する東播磨みらい博

(第2回)R4.3.22-23開催
産業界のニーズに対応した技術展示

- ・低遅延遠隔操作システムなど5Gをイメージできる次世代技術を体験
- ・スローモビリティの体験
- ・ベンチャー企業の育成
- ・地元企業とのマッチング など




また、スマートシティを体験する「東播磨みらい博」を実施し、最先端の IT 技術を加古川で市民に体験してもらうほか、ベンチャー企業と加古川周辺の企業とのマッチングなども行いました。

ICT（情報通信技術）を活用し、高校生を中心として色々なアイデアを出してもらい歴史や産業を学ぶ「東播磨の寺子屋」とか、スマート農業の展開なども面白いと思います。

多彩なネットワークの構築として、今進めています東播磨道（北工区）の整備、国道2号の4車線化・対面化があり、また東播磨臨海道の詳細ルートがまもなく発表されますが、全国一の予算獲得になると聞いております。

多彩なネットワークの構築

- ・東播磨道（北工区）の整備
- ・国道2号（加古川市）の4車線化・対面化
- ・天満大池バイパス
- ・相生橋西詰交差点改良整備の推進
- ・自転車レーンの整備（高砂市役所周辺）



駅周辺の拠点整備・活用として、JR 東加古川駅付近の整備、山陽電鉄高砂市域の連続立体交差事業を進めてまいりたいと思います。

駅周辺の拠点整備・活用

- ・JR東加古川駅付近山陽電鉄高砂市域の連続立体交差事業
- ・駅周辺のまちづくり




また、食が大変豊かな資源である東播磨として「食」のブランド化大作戦を進めてまいります。

(2) 水辺との心豊かな暮らしが 思い出に残る東播磨づくり

水辺のある暮らしでは、20年前からユニークな取組として、「いなみのため池ミュージアム」を開催してきました。作家の玉岡かおるさんに会長をお願いしています。企業からも協賛金をいただきながら募集を実施しており、今後地域の特徴あるイベントとして続けていきたいと考えています。

いなみ野ため池ミュージアム20周年記念

会長：玉岡かおる氏
約550のため池を守る
リレーイベント
ため池と企業・団体のコラボ
・水辺の祝祭（11月）
ウエディング、舞台など
・ロゲイニング、サブ
・ため池ウォーク など



「東播磨フィールドステーションーため池への伴走支援」として、ため池管理とか、周辺の草刈りとかへの地域外からの継続的な支援の体制づくりを進めています。なかなか支援する方、支援される方とのマッチングの難しさを感じております。

11月13日には明石市で天皇皇后両陛下ご臨席の下、「第41回全国豊かな海づくり兵庫大会」が開催されます。

海が栄養面できれいになりすぎてしまい、魚が獲れなくなり、豊かな海をもう一度取り戻そうということをテーマに開催されます。

そのための機運醸成の一つとして、色落ちして売れなくなった海苔を活用した地ビールの開発なども行われています。

第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会
1日時 令和4年11月13日（日）
2場所 明石港ベランダ護岸等



「ペットボトルのリサイクル」(B to B) をサントリー高砂工場のご協力をいただき、2市2町(加古川市、高砂市、播磨町、稲美町)の広域的な取組として実施させていただいております。さらにマルアイ、コープこうべさんにも協力をいただき BtoB の率は37%から59%に延ばすことが出来ました。今後も更なる浸透が出来るよう進めてまいります。

明石公園の自転車競技場におきまして、一般の方が利用するイベントの実施、また自転車を活用するまちづくりの推進としてサイクリングモデルコースの設定なども行っています。

観光事業の推進として JR と共同でdestination キャンペーンの準備を進めております。来年度に兵庫県で開催されますので、色々なツアーを企画しています。

東播磨地域では建設工事が多く施工されており、地元小中学生による見学ツアーなども実施し、将来地元で働く人材の増加を図ろうとしています。

(3) いきいきと暮らせる 安心安全な東播磨づくり

ふるさと意識の向上のため、加古川市別府の宝蔵寺に我が国最古のオリーブの木があることから、「ふるさとの木 オリーブ植樹」事業を進めています。

防災意識の向上のため、河川整備・ため池の防災機能の向上に努めているほか、ジュニア防災スクールとして小中学生に対して出前講座や防災センターでの講座の開催なども積極的に行っています。

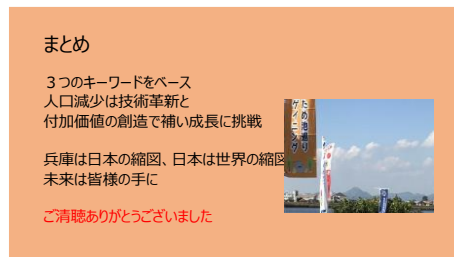


東播磨のふるさと魅力発見として、子どもたちの工場見学、加古川線を利用した環境学習教室など行うほか、自動柵、防護柵により小動物の保護活動などの取組も行っています。

最後に、子どもたちの増加を推進し、自然増対策を行うことが非常に重要であると考えています。ご縁を取り持つボランティアの皆さんと協力しながら、カップルづくりに努めるなど、地道な活動を進めていきたいと考えています。

5 まとめ

人口減少は全国的な状況であります。東播磨地域として県が進める3つのキーワードをベースに、皆さんの協力をいただきながら、地域の付加価値の創造に挑戦していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



【出野上副会長 お礼】



本日は兵庫県東播磨県民局長の小川様から「成長する東播磨へ」という演題でご講演いただきありがとうございました。

躍動する兵庫、フィールドパピリオンなど幾つかのキーワードをお示しいただきながらトピック的に現在取り組んでおられる施策の内容、今後の方向性などを説明していただきました。

非常にわかりやすい説明をいただき、ありがとうございました。私たちが今後の事業展開などに注目していきたいと思っておりますし、当会としましても参加、協力できる場所は一緒にやっていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

Ⅱ 視 察 会 (第 5 0 2 回月例会併催)

「西神中央 なでしこ芸術文化センター」



【会 長 挨 拶】

皆さんこんにちは。

神戸市のまちづくりは阪神淡路の影響で、他の都市と比べますと市内の整備拠点が遅れているようでしたが、令和に入り都心三宮再整備事業が始まり、各拠点駅前事業も進行しております。リニューアルする神戸の新しいまちを建築関係者として大いに期待しており、できる限りの応援をさせていただきますと思っています。

本日の視察会（月例会）は、西神中央駅向かいの一等地にもかかわらず、この秋には芸術文化の中心施設として「なでしこ芸術文化センター」がオープンします。現在竣工に向けて大変お忙しい時期にもかかわらず、神戸市、鹿島、久米設計のご厚意によりオープン前に事前視察会を実施することが出来ました。この会を代表しまして感謝とお礼を申し上げます。

本日の見学を大変楽しみにしておりますので、よろしく願います。



(説明会風景)

【施 設 説 明】

(鹿島 宗岡氏)

工事概要につきまして説明させていただきます。
工事場所は神戸市西区美賀多台 1 丁目です。建築主は鹿島リース (株)、設計者は久米設計となります。施工管理も久米設計で、建物は鹿島リースから竣工後に神戸市が買い取るという形になっています。建物の指定管理者はシアターワークショップになります。

工期は昨年の 1 月 18 日から今年の 6 月末の 17.5 ヶ月で、図書館とホールになります。敷地面積 4,000 m²、延べ床面積約 6,000 m²です。建築面積は 2,800 m²、高さが 20m 弱で、地上 4 階建鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造で、直接基礎となります。

外見上は勾配屋根とか、南側からの金属の外観とか、装飾的にも非常に凝った造りになっています。

私は施工管理を 25 年やっておりますが、このプロジェクトは最高難度のものでした。みんなで真剣に良い建物を造るという気持ちでやると、このような素晴らしいものが出来ると再確認させていただきました。

(外 観)



(久米設計 堀川氏)

設計を担当しました久米設計の堀川です。

まずホールですが、客席 500 席です。電気音楽ではなく、生音を大事にしたいと考え、響きが豊かなホールを造りました。

ホールの下に 30 万冊の蔵書がある図書館を設計しましたが、これらは複合施設ではなく、融合施設というコンセプトで設計しています。設備を兼用しているとか、安価で作るというのではなく、図書館とホールがお互いに影響し合うような融合した施設を目指して設計しております。

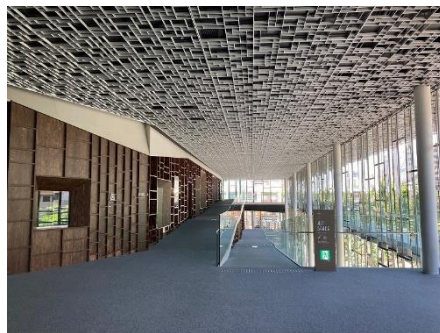
また特徴的な部分としては、ガラス張りのカーテンウォールのロビー空間は緩い傾斜のスロープを利用して、衣装の凝った棚があります。それは図書館の棚というのではなく、アートウォールとか展示なども出来る空間になっています。

外部の 3 階部分を覆っているアルミキャストで作ったパネルも特徴があると思います。施設の周辺は周りにマンションが多いため、そのためのプライバシー保護と日よけを兼ねた金属遮蔽ルーバーみたいなものとして制作しています。

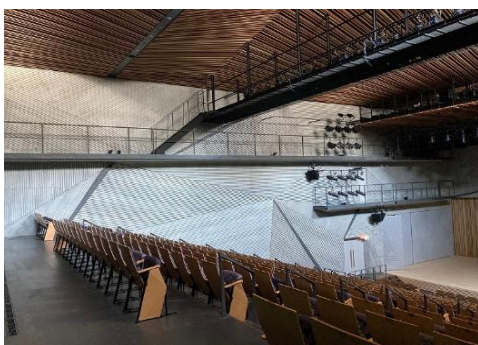
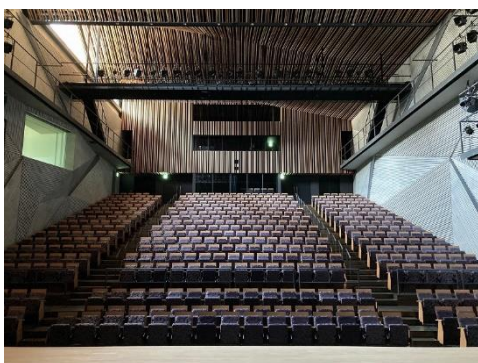
今回の場合、設計時から鹿島さんと十分に協議して、これはできるかとか、どうやったら出来るかということ相談しながらやらさせていただきました。従来方式だと設計と施工は分離されていて、相談事も難しい場合が多いのですが、今回は鹿島さんと大変うまく協議が出来て、実現したプロジェクトでした。

皆さまからのご意見も頂戴したいと思いますので、よろしくお願いします。

(内部:ロビー、図書館等)

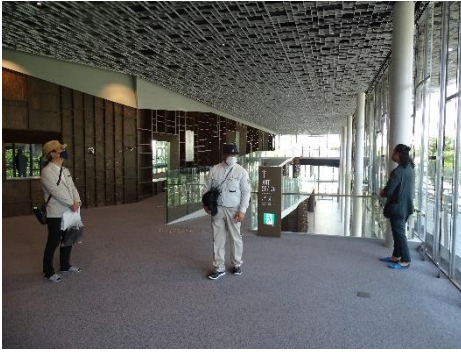


(コンサートホール)



【視 察 風 景】

(内部：図書館ロビー等)



(コンサートホール)



(お礼 出野上副会長)



(今回の視察会の報告は、諸般の事情により施設オープン後となりました)

Ⅲ お知らせ

◎行事予定

1 事業推進委員会

日時：令和4年12月8日（木）
（事業説明） 17：00～17：30
「建設業を取り巻く現状・課題」
兵庫県土木部契約管理課建設業班
（懇談会） 17：30～19：00
場所：神戸元町 梅の花

2 創立75周年記念月例会 並びに会員新春交流会

（75周年月例会）
日時：令和5年1月12日（木）
15：00～16：30
場所：神戸三宮東急REIホテル
内容：「新しい価値観に基づく防災対策」
講師：京都大学名誉教授 河田恵昭 氏

（新春交流会）
日時：上記同日 17：00～19：00
場所：神戸三宮東急REIホテル

3 月例会

日時：令和5年2月9日（木）
13：00～14：00
場所：神戸三宮東急REIホテル
内容：「神戸の都心再生」
講師：神戸市都市再生本部 本部長
中原 信 氏

4 月例会

日時：令和5年3月9日（木）
13：00～14：00
場所：神戸三宮東急REIホテル
内容：「コロナ禍のメンタルヘルス」
講師：元兵庫県立大学 教授
近澤 範子 氏

なお、これら行事につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑みて、中止、延期等が想定されます。変更等のお知らせは郵便、メール等でご案内しますのでご了承ください。

◎編集後記

十二月のことを師走といいますが、その語源は①年が果つる→一年の終わり、②師（匠）が走り回るほど忙しいなどと色々な説があるそうです。

しかし神事的には十二月十三日は「事始め」といい、新しい年神様を迎える準備が始まる月だそうです。例えばスズ祓いを行うなど色々な行事が行われています。

日本人の古来からの自然への限りない畏敬の念が現れていることであり、私たちもそのような豊かな心持ちで過ごして参りたいと思いません。

コロナ禍は第八波の到来と巷間言われています。とうとう4回目の正月を迎えることになりそうです。

会員の皆さまも「ウイズ・コロナ」を念頭に十分お気を付けください。

今年も当会運営に関しまして、事務局へのご協力ありがとうございました。

事務局：吉本義幸、石井滝実子
電話：078-996-2851
FAX：078-996-2852
Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp



安心をカタチに
兵庫県住宅再建 共済制度
フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」

今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に		県内の住宅(借家含む)にお住まいの方に
住宅再建共済	一部損壊特約	家財再建共済
年額 5,000円 で 再建、補修時等に 最大600万円 給付! ※半壊(損害割合 20%)以上	年額 500円 で 補修時等に 25万円 給付! ※損害割合10%以上20%未満	単独加入 年額 1,500円 で 住宅とセット加入の場合 年額 1,000円 で 購入・修復時に 最大50万円 給付! ※床上浸水・半壊以上

※ 住宅の被害認定(損害割合)は、住宅の所在する市町が発行する「リ災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
 FAX: **078-362-4082**

E-mail jutakukyosaikikin@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 ※加入申込書はダウンロードできます※



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!

